

ACCM-9, CJCC-11

出張報告書

作成日：2014/10/28

文責：同志社大学大学院

理工学研究科機械工学専攻

構造工学研究室M2木村匡宏

学会名：The 9th Asian-Australasian Conference on Composite Material, China

The 11th China-Japan Joint Conference on Composite Materials

主催：JIANGSU COLLABORATIVE INNOVATION CENTER FOR ADVANCED INORGANIC
FUNCTION COMPOSITE (ACCM-9)

CHINESE SOCIETY FOR COMPOSITE MATERIALS

日本複合材料学会(CJCC-11)

開催期間：2014年10月15日から23日

開催場所：蘇州 Worldhotel Grand Dushulake Suzhou(ACCM-9)

重慶 重慶大学(CJCC-11)

研究題目と発表者：Moderation of Dependence of Frictional Coefficient on Temperature at Counter
Surfaces of C/C composite Modified with Glass Fibers(ACCM-9)

Moderation of Dependence of Frictional Coefficient of C/C Composite on Temperature due to
Addition of Glass Fibers into Carbon Precursor of Phenolic Resin(CJCC-11)

木村匡宏, 小武内清隆, 大窪和也, 藤井透

同道者：小武内清隆

発表形式：講演（20分間）(ACCM-9)

：講演（15分間）(CJCC-11)

学会HP: <http://www.accm9.com/index.php> (ACCM-9)

私は2014年10月14日の学術交流会, 10月15日~17日に蘇州で開催された ACCM-9 に
参加し, 10月18日~23日に重慶で開催された CJCC-11 に参加しました. 下記にその詳細
を記します.

《中国への入国と蘇州への移動》

10月13日7:00に関西空港に到着し, 9:05に中国の上海浦東空港に向かいました. 現地
時間の11:00頃に到着しました. そこから, 蘇州へ向かうために, 蘇州行きのリムジンバス

に乗車しました。蘇州のバス停に到着してからは、タクシーを使ってホテルまで向かいました。ホテルには 17:00 ごろに到着しました。その後ホテルの周辺を散策し、就寝しました。

《江南大学への訪問，学術交流会》

10 月 14 日は 9:00 から無錫市にある江南大学で開催される学術交流会に参加しました。江南大学へはホテルからタクシーを使用して移動しました。学術交流会では現地の学生と一緒に教授の複合材料の講演を聞きました。その後、お昼ご飯を食べさせていただき、江南大学の研究室の見学をさせていただきました。最後に、無錫で有名な湖である太湖の周辺を観光しました。

《ACCM-9 の参加と発表》

15 日からは ACCM-9 が開催されました。8:30 から参加登録し、セレモニーが始まりました。その後基調講演を聴き、セッションごとの発表が始まりました。初日は岡山県立大学の小武内先生の発表や学術交流会でお世話になった方の発表、その他興味のある講演を聴きました。私の発表は 2 日目でした。発表は少し早く終わり、質問がありました。質問にはあまり答えることができませんでした。ACCM-9 では以前当ゼミに留学していた韓国の Lee さんに出会いました。Lee さんと少し話すことができとても楽しかったです。17 日には学会のツアーに参加しました。ここでは、Sinoma Science & Technology Co.,Ltd という会社の見学、Humble Administrator's Garden, Tiger Hill の観光をしました。Sinoma はガスボンベを製作する会社であり、フィラメントワインディングで FRP のバスボンベを作る工程が印象的でした。Humble Administrator's Garden は世界文化遺産に指定されており、中国の古い建物がたくさんありました。Tiger Hill も蘇州の観光地であり、頂上にある塔がすばらしかったです。

《蘇州から重慶への移動》

17 日の夜には CJJCC 参加するために上海の虹橋空港に向かいました。そこで、一泊し 1 日の 11:00 に重慶行きの飛行機に乗りました。当初は空港までホテルまで送迎バスで行く予定でしたが、飛行機が 2 時間ほど予定よりも遅れてしまい、バスに乗れなかったため、タクシーを使ってホテルまで移動しました。参加登録はホテルで行われており、そこで参加登録を行いホテルで夕食を食べました。

《CJJCC-11 の参加と発表》

CJJCC-11 は前半と後半がありました。前半は重慶大学で行われました。私の発表は 1 日目でした。発表はうまく終わったのですが、質問にはうまく答えることはできませんでした。1 日目の夜には重慶の名物である火鍋を食べに行きました。火鍋は今までに体験したことのない辛さでした。2 日目は午前中が講演で、午後からは重慶大学の見学でした。重慶大学

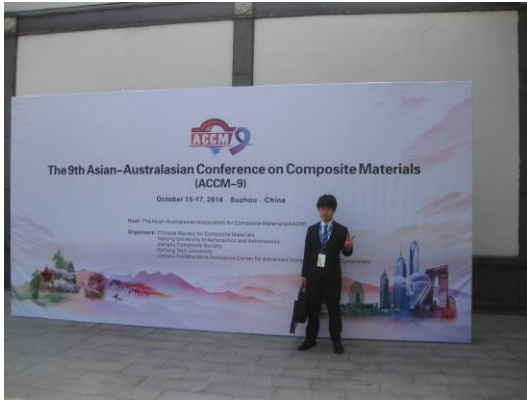
では顕微鏡の施設とトランスミッションの研究室を見学しました。どちらも大掛かりな装置がたくさんあったので、非常にレベルの高い研究室であることが伺えました。

CJJCC-11 の後半は長江を下る船の中で行われました。20 日の 20:00 頃に乗船しました。21 日にはポスターセッションが船の甲板で行われました。そこで、他の参加者の研究を見せていただきました。その他船ではオプションツアーがあり、さまざまな場所を観光しました。

《日本への帰国》

船は宜昌に到着し学会は終了しました。そこからは新幹線を使って武漢駅に移動し、タクシーを使って武漢空港へ移動しました。武漢空港から上海虹橋空港へ移動し、さらにリムジンバスへのり 22:00 頃に上海浦東空港へ移動しました。そこから時間をつぶし、23 日の 9:10 に関西空港行きの飛行機にのり日本に帰国しました。全体を通して言葉が通じないために苦労しました。特に移動に関しては Google が中国では使えないこともあり、大変苦労しました。学术交流会で出会った方々に後の学会でも大変お世話になり、困ったときに助けていただきました。困難なことも楽しいこともたくさんありましたが、12 日間中国に滞在して非常に貴重な体験ができました。

最後になりましたが、このような素晴らしい機会を与えてくださった藤井先生、大窪先生および当研究室の皆様に深く感謝いたします。



ACCM の会場



Humble Administrator's Garden



CJCC での発表



重慶大学の研究室



乗船した船



三峡ダム